

## 地質標本館

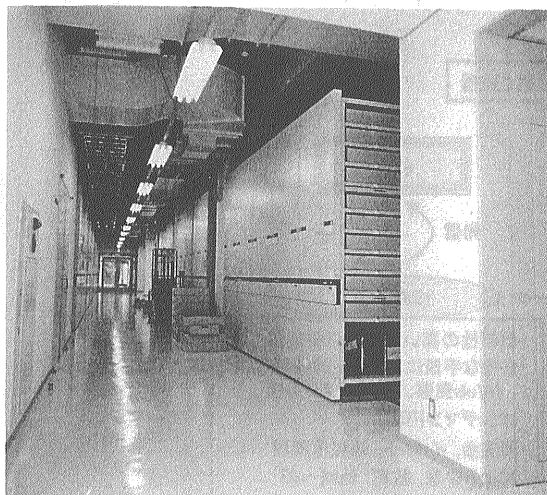
### 地質標本館の現状

地質標本館は、地質調査所の行っている研究と調査の成果を普及するため、1980年8月に一般に公開され現在に至っている。その展示内容は、地球科学全般に亘り、我国唯一の地球科学の総合博物館の役割を果たしてきた。また、研究の課程で蓄積された岩石・鉱物・化石等の地質標本に関する分類学、記載学的研究と標本の管理を行い、日本最大の地質標本コレクションの有効利用に務めている。

### 産業技術総合研究所地質標本館の活動

#### 普及広報活動

2001年4月、独立行政法人産業技術総合研究所の発足にともない、地質標本館は成果普及部門に位置づけられ、地球科学情報研究、地圏資源環境研究、海洋資源環境研究、活断層研究、深部地質環境研究の5つの研究ユニットと、成果普及部門の地質調査情報部、国際部門の国際地質協力室と連携し、調査研究成果の普及・広報活動を行う。活動は常設展示の新設・改修、特別展示を年1〜2



第1図 10万点の地質標本を管理するC8収蔵庫。

回実施するとともに、色々な階層に対する普及講演会や野外観察会を行う。また、これまで学校の休暇期間に行っていた、小中学生を対象とした化石のクリーニングや、化石レプリカ作り、地球何でも相談等のイベントも従来通り実施する。

#### 地質標本の管理と利用

地質標本については、地球科学情報分野の地質標本研究グループと密接に連携して地質標本データベース化を推進し、地質標本館がその管理に当る。これらの標本は研究ばかりでなく、教育・出版等のニーズに対応して、これまで維持するにとどまっていた地質標本管理用データベースを新たに整備し、画像情報とともにインターネット上に公開（電子標本館の開設）する。

登録標本については標準標準化を進めるとともに、長期的には東アジアにおける中核的標準標準センターを目指す。なお、標本の利用については地質標本館、地質標本情報の担当者が対応する。

#### 地質相談

従来、産学官連携推進センターの「地質相談所」として暮らしの中や社会生活の中での地質に関する様々な疑問や、相談に答えてきた業務を地質標本館が窓口として引き継ぐ。

#### 地質図類の販売

これまで限られた所でしか購入できなかった地質図類を、標本館ロビーに新設するミュージアムショップで直接購入することが可能となる。標本館独自の絵葉書や教育用ポスター等の販売も企画する。

#### 地質の調査に関する試料の調製

地質調査所地質標本館が行っていた試料調製課の業務を継承するもので、「地質の調査」の研究遂行上必要な薄片・研磨片等の作成を行う。

(豊 遙秋)